

こんにちは！ 日本共産党の **好きです！ 憲法9条**

大名みえ子です

ご相談はお気軽にお寄せください

2011年10月28日 No.202

〒319-1112

東海村村松2401-2

oona_toukai@yahoo.co.jp

電話・ファックス 029-284-0761

全国の母親、女性たちが10月27日、省庁・NHK要請

母親・女性たちの切実な要求を政治に反映してください

要請は、第57回日本母親大会実行委員会が行いました。

同大会は、7月30日、31日に開かれ、「被災者の声を生かした復興で、被災地に展望を、全国からのときれぬ支援を」「子どもたちの未来のために、核兵器のない世界を、原発のない日本を」の願いを実現するにはどうすればよいかが、全体会、分科会を通じて追求されました。そして、“命を生み出す母親は、命を育て、命を守ることをのぞみます”のスローガンのもと、くらしと働く権利、子どもと教育、女性の地位向上、平和と民主主義などをテーマに、熱心に学びあい「大会アピール」「大会決議」が満場一致で採択されました。「いまこそ軍事費を削って教育、福祉、世界平和のために」と・・・「だれもが人間らしく生きられる平和な21世紀」の実現めざして行動し、政府に政策の実行を求めることを誓いあいました。

大会決議109項目に盛り込まれた母親・女性たちの切実な要求を、各省庁、NHKに要請したものです。



←経済産業省に要請書を手渡す大会実行委員会事務局次長

応対していただいた経済産業省の職員は、みな若く、子どもたちと話し合うような感じにもなりました。職員は、「こうして来ていただかないと現場のことはなかなか分らないです。でも今、交代で被災地に入っています」と、述べていました。



←浪江から参加したお母さんが涙ながらに訴えました

↓経済産業省の若い職員たち



【経済産業省への要請項目】

1. 地球温暖化防止に向け、1990年比で2020年までに温室効果ガス25%削減を実現する立場から、積極的な姿勢で対応すること。安全性が不確実な原子力発電に頼るのではなく、再生可能で多様なエネルギー政策の推進を図ること。
2. 国のエネルギー政策を原発推進から持続可能な自然エネルギーへ根本的に転換し、原発から撤退する期限を決めたプログラムをつくること。
3. 東京電力福島第一原発事故を教訓にして、緊急に安全最優先の権限と責任をもった原子力の審査・規制の体制をつくりあげること。原子力安全・保安院、原子力安全基盤機構、原子力安全委員会を分離・独立させること。

* 浪江から参加された方の切々とした訴えが感動を呼びました。次号でご報告いたします。